

生活期リハビリテーションにおける 訓練項目の全国調査

広島大学病院リハビリテーション科¹

広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門²

○荒木 武弥¹, 塩田 繁人², 吉川 浩平², 三上 幸夫¹

第55回日本リハビリテーション医学会
中国・四国地方会
COI 開示

筆頭発表者名：荒木 武弥

演題発表に関連し、開示すべきCOI
関係にある企業などはありません。

背景

医療分野：EBM(Evidence-Based Medicine)

…「根拠に基づく医療」 Guyatt G. Evidence-based medicine. ACP J Club. 1991;114:A-16



介護分野：介護を要する高齢者ごとに状態は様々
一定の評価指標が存在せず、個々の利用者の価値判断

三上 幸夫. 介護領域のリハビリテーション手法手引書. 日本リハビリテーション医学教育推進機構, 2023

近年では介護分野でも、科学的手法に基づく分析を進め、
科学的根拠に基づいて介護の質を向上させることが期待されている

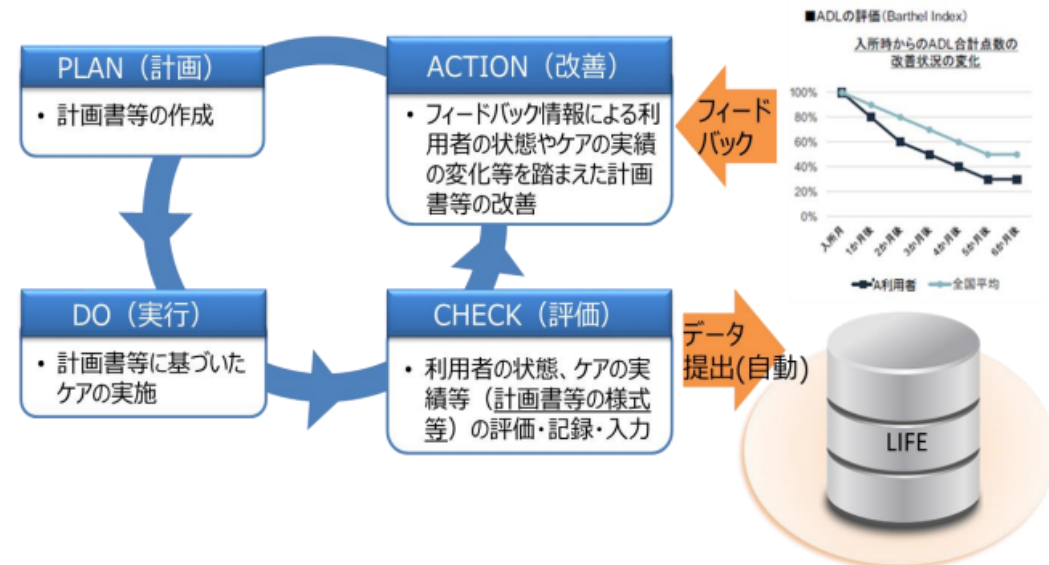
➡ データ収集・エビデンスの構築が必要

科学的介護情報システム（LIFE）

- **介護サービス利用者の状態**や、介護施設・事業所で行っている**ケアの計画・内容**などを一定の様式で入力すると、**インターネットを通じて厚生労働省へ送信**され、入力内容が分析されて、**当該施設等にフィードバック**される情報システム
- 介護事業所においてPDCAサイクルを回すために活用するための**ツール**

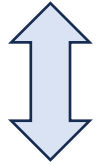
LIFEにより収集・蓄積したデータの活用

- LIFEにより収集・蓄積したデータは、**フィードバック情報としての活用**に加えて、施策の効果や**課題等の把握**、見直しのための分析にも活用される。
- LIFEにデータが蓄積し、分析が進むことにより、エビデンスに基づいた質の高い介護の実施につながる。
- 今後、データの集積に伴い、事業所単位、利用者単位のフィードバックを順次行う予定である。



目的

LIFEによる生活期リハビリテーションのデータの蓄積



実際のリハビリテーション処方では訓練項目が標準化されていない

ex) LIFE：関節可動域訓練



処方：関節可動域練習、ストレッチ、ROM改善運動etc…

➡ **生活期リハビリテーションの各訓練項目の実態調査**

- ・ 訓練項目の統一
- ・ 標準化されたリハビリテーションデータの集積

方法

研究デザイン	アンケート調査による横断研究
対象	全国の生活期リハビリテーションを実施している医療機関、介護事業所45施設
調査期間	2023年6月～7月
調査内容	リハビリテーション処方箋とリハビリテーション指示書に記載されている訓練項目名(自由記載)
調査方法	各施設の研究担当者にメールで依頼文を送付し、調査内容についてメールにてテキストデータで回答を得た。
データ処理	LIFEの支援コードに沿って訓練項目を再分類し、各支援コードの件数と用語の差異を検討 医療保険と介護保険間および介護保険内での各訓練項目名の件数を比較検討

結果

対象施設：45施設， 回答施設：34施設（回収率：75.6%）

No	施設名	地域	No	施設名	地域
1	広〇市立リハビリテーション病院	中国四国	26	榊〇温泉病院	中部
2	山〇病院	中国四国	27	榊〇白鳳病院	中部
3	ア〇リハビリテーション病院	中国四国	28	苑〇会ニューロリハビリテーション病院	関東
4	メ〇ィホスピタル	中国四国	29	竹〇病院	関東
5	西〇島リハビリテーション病院	中国四国	30	医〇法人社団健育会熱川温泉病院	中部
6	公〇みつぎ総合病院	中国四国	31	医〇法人社団健育会西伊豆健育会病院	中部
7	盛〇友愛病院	東北	32	医〇法人社団健育会石巻健育会病院	東北
8	八〇病院	東北	33	医〇法人常磐会いわき湯本病院	東北
9	荻〇病院	東北	34	医〇法人喬成会花川病院	北海道
10	京〇近衛リハビリテーション病院	近畿	35	医〇法人社団健育会石川島記念病院	関東
11	京〇きづ川病院	近畿	36	医〇法人社団健育会ねりま健育会病院	関東
12	京〇山城総合医療センター	近畿	37	医〇法人社団健育会湘南慶育病院	関東
13	医〇法人社団石鎚会京都田辺記念病院	近畿	38	広〇大学病院	
14	洛〇会音羽リハビリテーション病院	近畿	39	東〇慈恵会医科大学病院	
15	一〇財団法人京都地域医療学際研究所がくさい病院	近畿	40	藤〇医科大学病院	
16	社〇医療法人ささき会 藍の都脳神経外科病院	近畿	41	京〇府立大学病院	
17	総〇東京病院	関東	42	三〇大学病院	
18	九〇坂病院	関東	43	岩〇医科大学病院	
19	河〇リハビリテーション病院	関東	44	日〇大学	
20	季〇の森リハビリテーション病院	関東	45	聖〇リアンナ医科大学	
21	東〇病院	関東			
22	湖〇リハビリテーション病院	中部			
23	済〇会明和病院	中部			
24	み〇き総合病院	中部			
25	永〇病院	中部			

訓練内容の回答結果の一例

関節可動域訓練：21種類/89回答

筋力増強訓練：20種類/82回答

持久力訓練：24種類/51回答

回答結果	件数
関節可動域訓練	27
関節可動域運動	6
関節可動域練習	4
ストレッチ	4
ROM運動	3
ROM訓練	2
ROM練習	2
関節可動域維持・改善訓練	2
関節可動域改善練習	1
関節可動域改善・維持	1
関節可動域改善・維持訓練	1
関節アプローチ	1
ROM改善運動	1
ROMex	1
自動的関節可動域運動	1
他動的関節可動域運動	1
ストレッチング	1
コッドマン	1
腱滑走練習	1
可動域練習	1
関節可動域改善	2

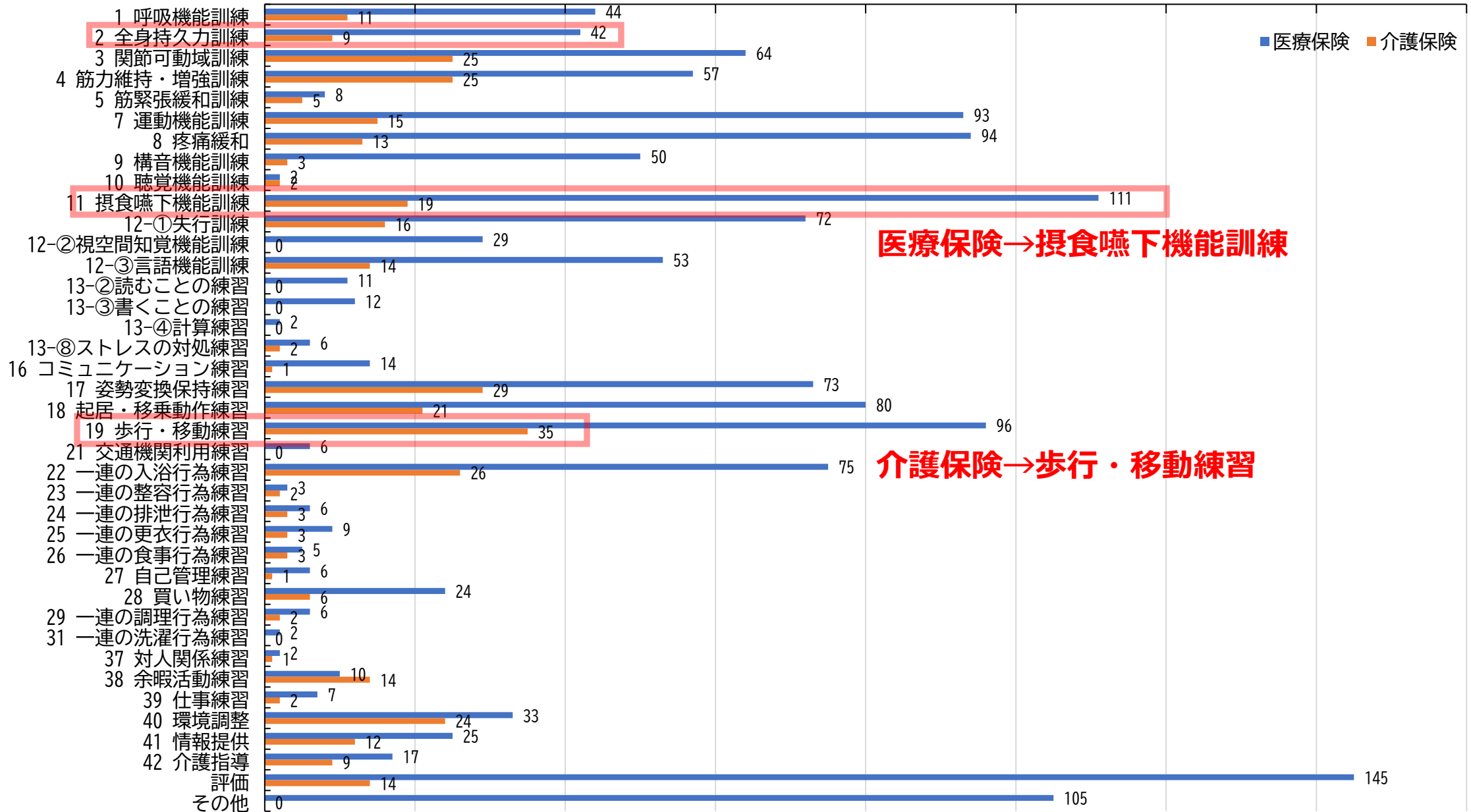
回答結果	件数
筋力増強訓練	19
筋力増強運動	8
筋力維持・増強訓練	6
筋力訓練	3
筋力維持・増強運動	1
筋力維持・増強練習	1
筋力強化運動	2
筋力強化運動指導	2
筋力強化訓練	2
筋力強化練習	2
筋力増強ex	1
筋力増強練習	1
筋力増強・維持	1
筋機能回復作業	1
筋力回復増強作業	1
筋力トレーニング下肢	1
筋力トレーニング上肢	1
筋力トレーニング体幹	1
筋力練習	1
筋力増強	2

回答結果	件数
エルゴメーター	4
持久力訓練	4
耐久性増強訓練	4
有酸素運動	3
耐久性改善訓練	3
トレッドミル	3
耐久性訓練	2
心肺機能維持・向上訓練	2
耐久性向上練習	1
耐久性の向上	1
耐久性トレーニング	1
持久力向上練習	1
持久力増強運動	1
持久性トレーニング	1
持久力ex	1
持久力運動	1
リカンベントエルゴメーター	1
自転車エルゴメーター	1
自転車練習	1
上肢エルゴメーター	1
心臓機能訓練	1
循環器・運動療法	1
トレッドミル歩行練習	1
耐久性増大	1

摂食嚥下訓練：74種類/130回答

回答結果	件数	回答結果	件数	回答結果	件数
摂食・嚥下訓練	7	間接的嚥下訓練	4	直接的嚥下訓練	4
摂食・嚥下機能評価・訓練	3	嚥下訓練	3	口腔ケア	3
間接的嚥下評価・訓練	2	直接的嚥下評価・訓練	2	構音嚥下訓練	1
間接嚥下訓練	1	摂食・嚥下機能	1	間接的嚥下評価・訓練	1
摂食嚥下機能訓練	1	間接訓練	1	直接的嚥下練習	1
摂食練習	1	頸部ストレッチ	1	水分摂取練習	1
摂食嚥下機能評価・訓練(直接訓練)	1	顔面マッサージ	1	うなづき嚥下	1
摂食嚥下機能評価・訓練(関節訓練)	1	発声・発語器官機能改善練習	1	空嚥下	1
嚥下機能訓練	1	干渉波電気刺激	1	体幹姿勢による代償法	1
構音嚥下訓練	1	頸部・肩の運動	1	頸部姿勢による代償法	1
直接嚥下訓練	1	顎の運動	1	飴なめ	1
嚥下障害評価・訓練	1	頬の運動・顔面マッサージ	1	氷片なめ	1
嚥下機能の評価と訓練	1	口唇の運動・ストレッチ	1	咳嗽訓練	1
直接的嚥下評価・訓練	1	舌の運動・ストレッチ	1	干渉波電気刺激	1
摂食訓練	1	深呼吸・排痰	1	声門内転訓練	1
直接訓練	1	声門内転訓練	1	嚥下反射誘発	1
摂食嚥下療法	1	藤島体操	1	吸啜促進手技	1
摂食機能療法	1	嚥下おでこ体操	1	嚥下反射促通練習	1
摂食機能訓練	1	あご持ち上げ体操	1	嚥下手技獲得練習	1
段階的摂食練習	1	シャキア体操	1	口腔器官の筋力増強練習	1
あごボールつぶし体操	1	機能的口腔ケア	1	口腔器官の協調性練習	1
口唇・舌・頬のマッサージ	1	口腔ケア・口腔内保清	1	咽頭挙上筋群の筋力増強練習	1
口腔器官の運動	1	口腔機能訓練	1	口腔器官の可動域練習	1
呼吸・咳嗽・排痰練習	1	咽頭収縮筋群の筋力増強練習	1	咽頭閉鎖筋群の筋力増強練習	1
バルーン拡張練習	1	E体操	1		

0 20 40 60 80 100 120 140 160



医療保険→摂食嚥下機能訓練

介護保険→歩行・移動練習

考察

訓練項目が統一されていない→データ蓄積が困難

生活期のリハビリテーションはエビデンスの蓄積に乏しい

…介護保険のリハビリテーションは15のRCT、1つのメタアナリシスのみ

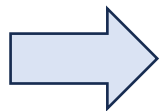
Shinohara et al. Health Economics Review (2022) 12:59

生活期リハビリテーションでは医療保険・介護保険により記載される訓練項目の頻度が異なる

医療・介護領域の連携が不十分

…先行研究でも医療・介護領域で一貫したリハビリテーションは行われていない

Asaeda et al. Ann Med Surg(2023) Jan;85(1):17-23

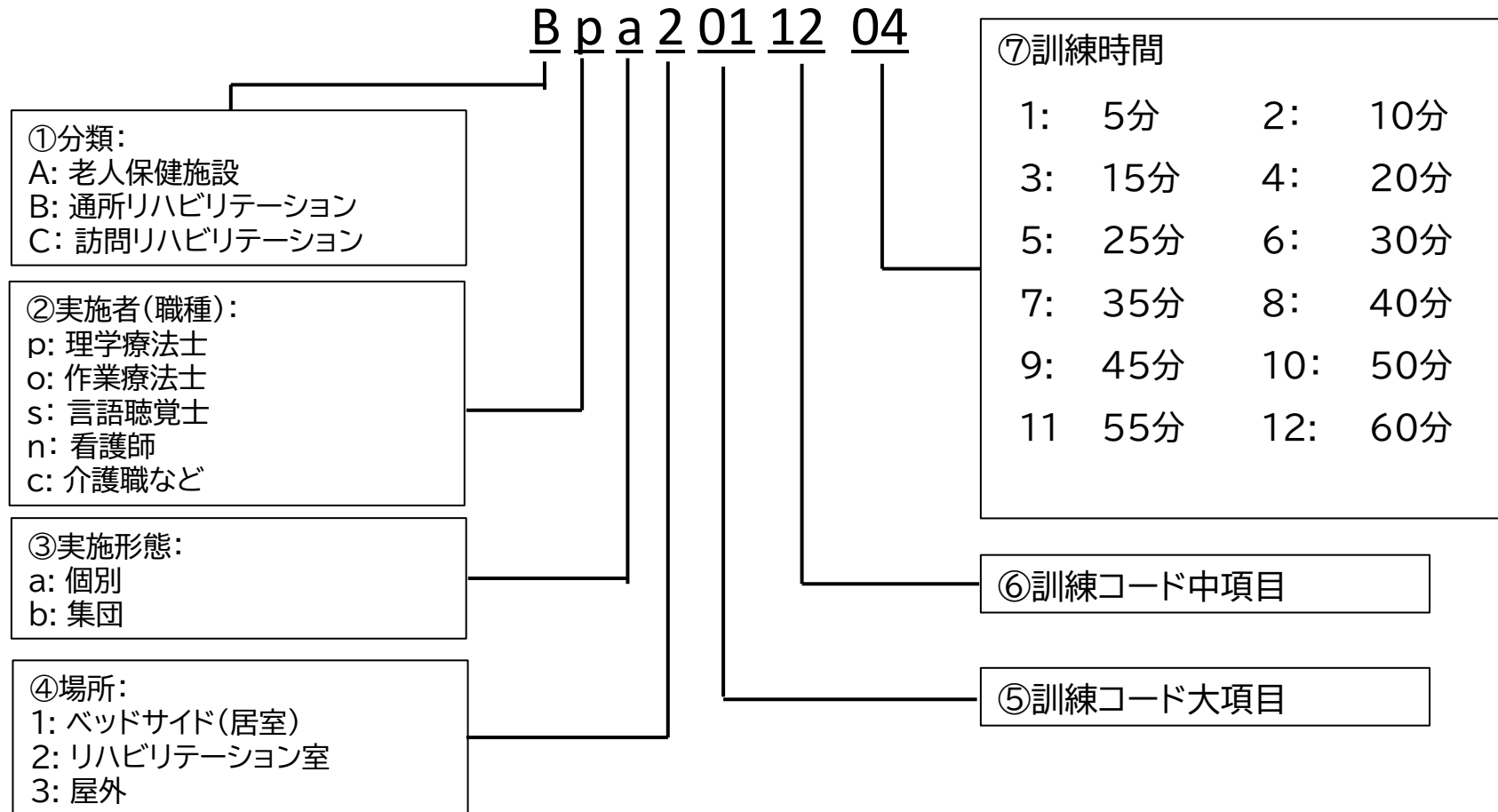


統一されたリハビリテーション訓練コードの開発

- ・医療介護領域の連携
- ・生活期リハビリテーションのエビデンスの蓄積

リハビリテーション訓練コードの開発イメージ(生活期版)

通所リハビリテーションで理学療法士が個別にリハビリテーション室で運動療法の筋力増強訓練を20分実施した場合



- ・リハビリテーション治療の訓練内容ごとに上記コードの組み合わせを入力する
- ・年齢・性別・主疾患名、要介護度、併存症、BI、認知症自立度等はLIFEにより収集

結語

- 生活期リハビリテーションにおいても科学的根拠が重要
- エビデンスの蓄積には訓練項目の標準化が必須である
- 生活期リハビリテーションでの訓練項目は医療保険・介護保険とともに現状統一されていない
- 今後訓練項目の統一・介入コードの開発によるエビデンスの蓄積が期待される

謝辞

令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金研究

生活期リハビリテーションにおける介入手法の標準コードの開発研究班

研究代表者：三上 幸夫¹

研究分担者：安保 雅博²、三上 靖夫³、西村 行秀⁴、大高 洋平⁵、佐々木 信幸⁶、
百崎 良⁷、新見 昌央⁸、羽田 拓也²、河崎 敬³、西山 一成⁴、中山 恭秀²、北村 新⁹、
清水 美帆⁷、塩田 繁人¹⁰、吉川 浩平¹⁰、秋田 智之¹¹ (敬称略)

1. 広島大学病院リハビリテーション科、2. 東京慈恵会医科大学医学部、3. 京都府立医科大学リハビリテーション医学教室、4. 岩手医科大学医学部、
5. 藤田医科大学医学部リハビリテーション医学Ⅰ講座、6. 聖マリアンナ医科大学医学部リハビリテーション医学、7. 国立大学法人三重大学医学部附属病院リハビリテーション部、
8. 日本大学医学部リハビリテーション医学分野、9. 藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科、10. 広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門、
11. 広島大学大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学

本調査は上記研究の予備調査となります。

以上の研究機関の先生方には本調査の遂行に多大なるご理解と
ご協力をいただきました。

この場を借りて改めて深く御礼申し上げます。